

対象国の条件: アジア地域(東南アジア、東アジア、南アジア、中央アジア、コーカサス)

研修コース番号: 201984919-J002

案件番号: 201984919

主分野課題: 農業開発/流通・加工・輸出振興

副分野課題:

使用言語: 英語

案件概要

経済成長や所得増加に伴い、途上国では安全で高機能な農産物・食品に対する消費者ニーズが高まり、生産から加工～流通～販売～消費まで、一貫した高付加価値化のためのバリューチェーン構築が求められている。本研修では、日本有数の農業地帯である北海道十勝の事例を中心に、市場ニーズに基づいた農産物生産、地元農産物の加工や流通合理化を通じた高付加価値化、安全な食品開発・ブランド化・販売戦略などについて実際的なノウハウを学ぶ。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】
農産物の振興を担う組織や農産物の生産・流通・販売に携わる団体において、バリューチェーンの考え方に基づいた、競争力の高い食品供給を企画・推進できる能力が強化される。

【対象組織】
地域農産物の生産・加工・流通に携わる民間セクター、業界団体、半官半民の政府系公社、生産者団体、公共セクター

【成果】
1. 競争力の高い食品(安全、高品質、食味)の供給のための、バリューチェーンの有効性を説明できる。
2. 消費者のニーズに合わせた農産物の生産方法、生産計画のあり方が説明できる。
3. 消費者のニーズに合わせた農産物の加工、および原材料・製品の流通の事例を踏まえて、農産物の高付加価値化に繋がる可能性があるポイント(着眼点)を分析・整理できる。
4. 市場分析に基づく農産物および製品のブランド化、並びに価格設定などの販売戦略の事例に触れ、農産物の高付加価値に繋がる可能性があるポイント(着眼点)を分析・整理できる。
5. 研修で理解・学習した内容を自国の状況に照合し、問題点を整理すると共に、改善のための具体的な計画が立てられる。

【対象人材】
1. 主任クラス以上
2. 農産物の生産・加工・流通・販売に関する計画を企画・立案又は提言できる立場にある者。
3. それらの技術開発・計画立案について、3年以上の経験を有する者。

内容

【事前活動】
インセプションレポートの作成・提出

本邦研修期間

2019/8～2019/9

【本邦活動】
以下の内容の講義・視察・実習・討論を行う。
1. 生産から加工-流通-消費に至る各段階の付加価値がつながることで生み出される効果の習得
2. 十勝農業の事例を通じた市場志向型農業の習得
3. 事例分析を通じ農産物の高付加価値化の意義・コンセプトの習得: 地域の食産業振興戦略“フードバレーとかち”を事例にした施策の効果、原材料、及び、製品の流通チェーンの効率化、地域組織によるブランド認証の仕組み、生産者と消費者をつなぐ取り組み、販路拡大の取り組み、地元食材による食品開発・保存手法(安全性と食味)、HACCP(牧場・地域)、6次産業化の取り組み、バリューチェーンの構築・推進に向けた行政・金融機関の役割など
4. 市場調査、商品開発、商品の差別化戦略、販売促進策の事例
5. レポート作成・発表(習得事項、自国で開発する農産物や流通システムの高度化などに向けた帰国後の取り組みアイデア)

担当課題部

農村開発部

所管国内機関

JICA北海道(帯広)

【事後活動】
研修成果を関係者と共有し、活動計画を実施する。

関係省庁

実施年度

2017～2019

主要協力機関

十勝インターナショナル協会

特記事項
及び
ホームページ

<http://www.t-i-a.jp/>